

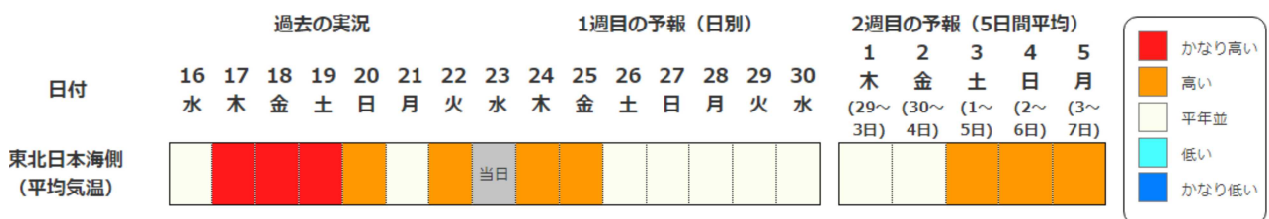
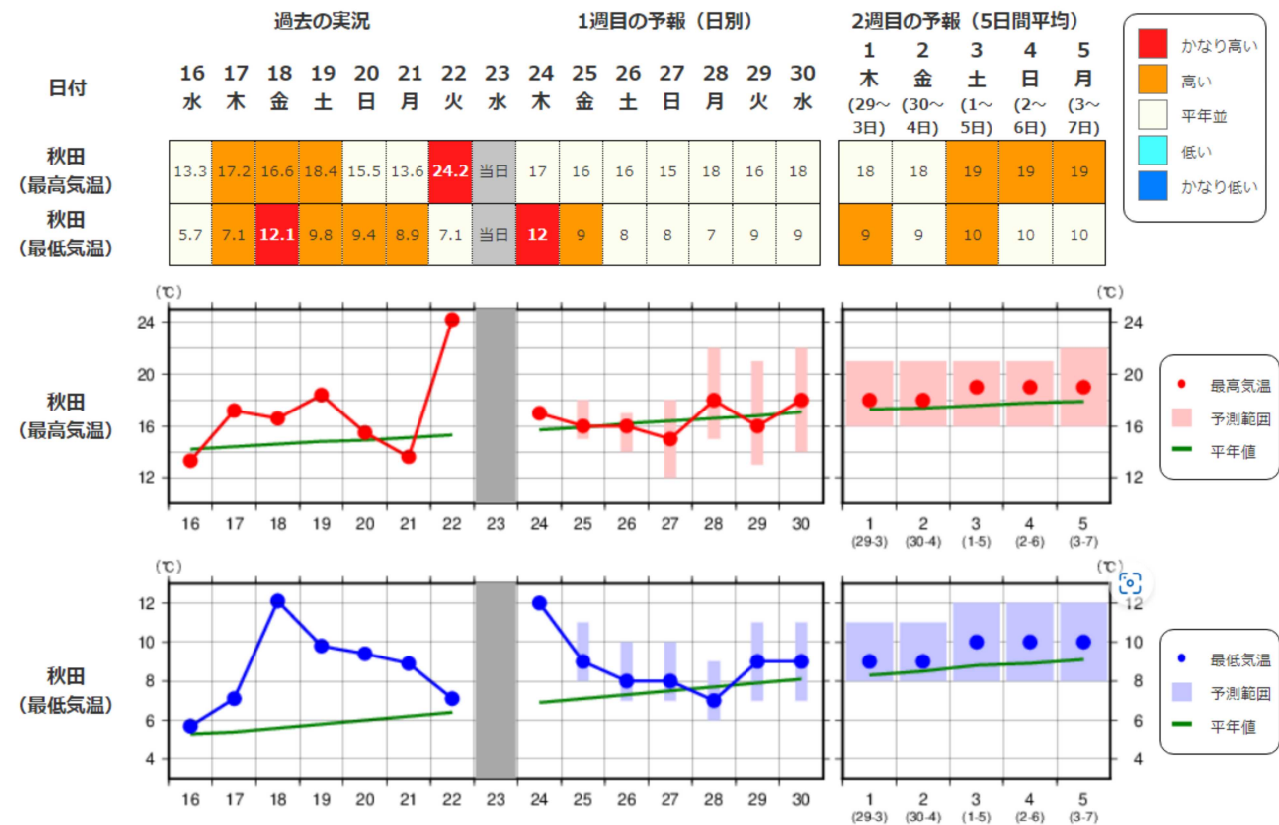
雄勝地域の

# 稲作だより

令和7年4月24日発行  
雄勝地域振興局農林部  
農業振興普及課  
TEL 0183-73-5180  
FAX 0183-72-6897

適正管理で健苗育成！育苗期いもち防除の徹底を！  
適期田植えと水管理の徹底で初期生育を確保しましょう！

## 【2週間気温予報】（4月23日気象庁発表）



## 【1か月予報】（4月24日気象庁発表）

東北日本海側では、天気は数日の周期で変わり、気温は高くなると見込まれています。天気の変化に伴って、育苗ハウス内部の温度も変化するため、こまめな管理で健苗育成に努めましょう。

- 1 週目（4/26～5/2）の気温は、平年並となる確率が50%と見込まれています。
- 2 週目（5/3～5/9）の気温は、高い確率が60%と見込まれています。
- 3～4 週目（5/10～5/23）の気温は、平年並または高い確率ともに40%と見込まれています。

## 【当面の主な技術対策】

### 1 育苗ハウスの管理について

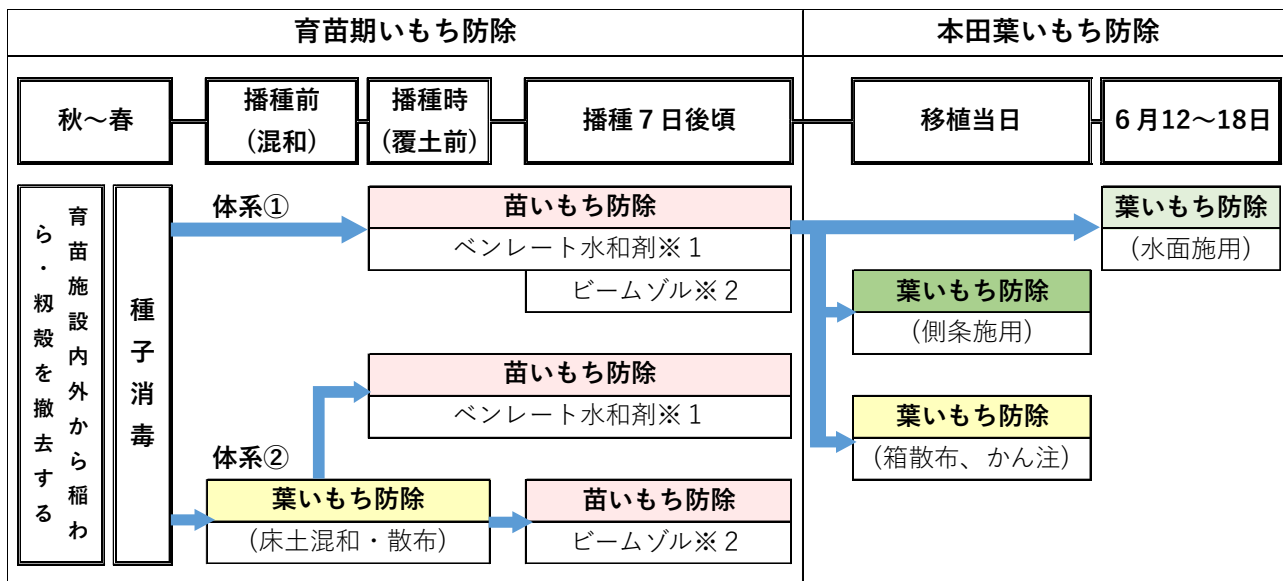
こまめな管理を心がけ、極端な低温や高温、急激な温度変化は避けましょう。

カビなどの病害は、ベタ張り期間に感染するものが多く、床土の過乾・過湿に注意しましょう。

朝方に充分かん水して、回数はできるだけ少なくします。夕方のかん水は、床土の温度を下げるだけでなく、過湿になり根が酸素不足の状態となるので、極力避けてください。

### 2 育苗期のいもち病対策について

穂いもちによる減収を回避するため、育苗施設の衛生管理と**育苗期防除の徹底**に、本田葉いもち防除を組み合わせることが重要です。箱処理剤には苗いもち防除効果はありませんので、以下を参考に対策を講じてください。



※1 ベンレート水和剤を500倍液500mL/箱で使用する場合、使用時期は**播種時～播種14日後**まで。

ベンレート水和剤を1,000倍液1L/箱で使用する場合、使用時期は**播種時～播種7日後頃**まで。

※2 ビームゾルの使用時期は**緑化始期**まで。

### 3 適期田植えと適正な栽植密度と植付について

#### ① 適期田植え

田植えは最高気温20℃前後の温暖な日に行い、15℃以下の日は極力控えましょう。

強風、低温の日は植え傷みを起こし、活着や初期生育の遅れにつながります。

#### ② 適正な栽植密度と植付本数、植付けの深さ

安定的な生育・収量が確保するため、栽植密度は70株/坪を目安にします。株当たり植付本数が多いと初期分けつが抑制されます。植付本数は3～4本/株になるように調節しましょう。

また、極端な深植えは、活着を遅延させるため、植付けの深さは2.5cmを目安とします。

### 4 作付品種が前年と違うほ場の漏生苗対策について

- ① 除草剤散布前の代かきは、間隔を空けて2回行い、漏生苗をすき込むか、代かきから田植えまでの期間を短くします。
- ② 条間および株間にこぼれ籾から発生した稲が残った場合は、抜き取ります。
- ③ ソルネットやエリジャン等のプレチラクロールを含む初期剤を、田植え同時か田植え直後に散布します。

|       | -10日 | -3～2日 |      | 0日 |            | +10～14日                     |     |
|-------|------|-------|------|----|------------|-----------------------------|-----|
| パターン1 | 代かき① | 7日間程度 | 代かき② | 短く | 田植え<br>初期剤 | 初期剤散布後10～14日<br>(ノビエ2葉期頃まで) | 一発剤 |
| パターン2 |      |       | 代かき① | 短く | 田植え<br>初期剤 | 初期剤散布後10～14日<br>(ノビエ2葉期頃まで) | 一発剤 |

※環境への影響と薬害防止を考慮して、初期剤は田植え後に使用します。

また、雑草の発生が多いほ場では、初期剤散布から一発剤散布までの間隔を短くします。

## 5 雑草対策

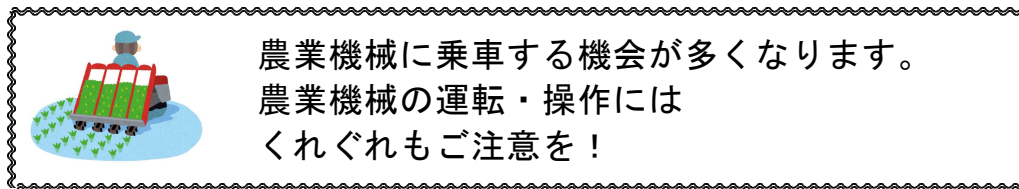
- ・除草剤の効果が十分発揮されるよう、畦塗りや、水尻の確認と補修など、漏水防止対策を確実に実施しましょう。
- ・除草の失敗は、水稻の生育不良や水田内での斑点米カメムシ類の発生を助長し、収量や玄米等級の低下につながります。
- ・除草剤を散布する際は、水中での拡散性を十分に発揮させるため、粒剤を使用する場合は水深を3～5cm、フロアブル剤、顆粒水和剤、ジャンボ剤、少量拡散型粒剤（豆つぶ、F G剤など）を使用する場合は水深を5～7cm確保しましょう。
- ・一発剤はノビエ2葉期頃までに散布すると最も防除効果が高くなります。ノビエ3葉期剤でも過信せずに、早めの散布を心掛けましょう。
- ・藻類・表層はく離が多く発生している場合は、除草剤の拡散性が劣ることから、除草剤の散布は、藻類・表層はく離の発生前から発生初期までに終えましょう。
- ・残草対策のために中・後期剤を散布する場合は、雑草の種類を見極めて、有効な除草剤を早めに散布しましょう。

| 《初期剤》                       | 使用時期の目安     | ノビエ葉齢   | 成分数 |
|-----------------------------|-------------|---------|-----|
| ピラクロン1キロ粒剤                  | 移植時、移植後3～5日 | 1葉期まで   | 1   |
| ソルネット1キロ粒剤                  | 移植後3～5日     | 1葉期まで   |     |
| ショキニーフロアブル                  | 移植時、移植後3～5日 | 1葉期まで   | 2   |
| 《一発剤》                       | 使用時期の目安     | ノビエ葉齢   | 成分数 |
| オイカゼZ /<br>メガゼータフロアブル       | 移植後5日～      | 2.5葉期まで | 2   |
| カウンスルエナジー /<br>カウントダウンフロアブル | 移植後3日～      | 3葉期まで   | 3   |
| ジャスタ1キロ粒剤                   | 移植後3日～      | 3葉期まで   |     |
| ベッカク豆つぶ250                  | 移植後3日～      | 3葉期まで   |     |
| カイリキZフロアブル                  | 移植後5日～      | 3葉期まで   |     |
| ディオーレフロアブル                  | 移植後5日～      | 3葉期まで   |     |
| アクシズMX1キロ粒剤                 | 移植後7日～      | 3葉期まで   |     |

(令和7年度版 秋田県農作物・病虫害雑草防除基準より一部抜粋)

## 6 「春の農作業安全運動」実施中！

- ・ 例年、春の農繁期に農作業事故が多く発生しています。
- ・ 秋田県では、4月20日～5月31日までを「春の農作業安全運動月間」と定めて、農作業事故「ゼロ」を呼びかけています。
- ・ 過去10年間の県内での農作業死亡事故は46件で、その約5割の22件が4月から6月にかけて発生しています。



★生産者向けHP・LINEで技術情報を発信しています

- ・ 美の国あきたネット（県公式サイト）  
当稲作だよりを掲載しています。
- ・ 秋田県稲作技術情報LINEアカウント「秋田の米ぢから」  
県内の水稻生育情報、水稻・大豆の技術情報、異常気象対策等をLINEで配信しています。



このアイコンが目印です！



QRコードはこちら↑

## 「雄勝地域の稲作だより」等への「あきたこまちR」の記載について

R7年から「あきたこまち」は「あきたこまちR」に切り替わりますが、両品種の生育や収量等は同等であることなどから、「あきたこまち」と「あきたこまちR」を区別する必要がない場合は、銘柄名である「あきたこまち」と記載します。

次号の発行は5月下旬頃の予定です。